

令和7年度音楽科《第1学年》年間指導計画

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 第1学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

知は、知識及び技能 感は、音楽の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

月	題材名（配当時間）	指導目標	指導内容 共通事項	評価規準		小学校との関連
				知	感	
4	曲種に応じた発声を身につけ、言葉の特性やフレーズを感じ取って歌おう。 <4時間> 発声方法 「校歌」 楽典	曲種に応じた発声を身につけ、歌詞を伝える意識や旋律のまとまりを感じ取り、工夫をして歌うことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や旋律のまとまりを感じ取りながら、思いや意図をもって歌わせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 旋律 リズム 強弱 小学校で学んだ記号 拍子 フレーズ 音階 Moderato 闇 </div>	知	曲種に応じた発声やフレーズを生かした歌唱表現をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸及び発音の仕方を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 (歌唱・表現5、6年) 範唱を聴いて、歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
	感			曲種に応じた発声や旋律のまとまりに思いや意図をもって表現を工夫している。		
	学			曲種に応じた発声や歌詞の内容に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。		
5	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴こう。 <2時間> 「春 第1楽章」	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受できるようになる。 ・要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くことができるようになる。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関連に関心を持ち、自分なりの考えを言葉で説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、旋律、テクスチュア、形式）の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受させる。 ・解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 音色 旋律 テクスチュア 形式 Allegro </div>	感	①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ②要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 (鑑賞5、6年)
				学	要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
				知	リズム、旋律のつながり方、構成を生かして、創作するために必要な技能を身に付けて、旋律をつくっている。	
6	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 <2時間> 「浜辺の歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、拍子や速度が生み出す雰囲気、歌詞の内容と強弱の変化との関係を感じ取って表現を工夫することができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（リズム、旋律、構成）の働きを知覚させる。 ・音楽の構成を理解させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> リズム 旋律 構成 拍子 拍子 フレーズ 音階 全休符 2分休符 三連符 反復記号 </div>	感	リズム、旋律のつながり方、構成を知覚・感受しながら、表現を工夫している。	各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
				学	リズム、旋律のつながり方、構成の働きに関心をもち、表現を工夫して主体的に旋律をつくる学習に取り組もうとしている。	
				知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	
7	【合唱コンクールに向けての取り組み】 混声三部合唱に取り組もう。 <14時間> 「夢の世界を」 学級の雰囲気に合わせた曲選び。 など	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようになる。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようになる。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 ルート 和音 rit. a tempo pp fff dim. テヌート フェルマータ Andante Moderato </div>	感	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聞いて、声を合わせて歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
				学	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている	
				知		

10	日本の歌の美しさを感じ取って歌おう。 <2時間> 「赤とんぼ」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫することができるようとする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や旋律との関わりを感じ取られ、曲の持つ情緒を味わわせながら表現を工夫させる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 <p style="text-align: center;">旋律 強弱 形式 フレーズ dim.</p>	知	歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
				思	歌詞の構成と曲の形式との関わりを理解し、それが生み出す特質や雰囲気を感受しながら歌詞の内容を味わって曲にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	
				學	歌詞の内容や、歌詞と旋律の関わり、曲想に関心をもち、言葉の特性を生かしながら曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	
11	歌唱表現の特徴を感じ取って聴こう。 <2時間> 「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現の特徴を感受できるようする。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受できるようする。 ・要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くことができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現の特徴を感受させる。 ・音楽を形づくっている要素（音色、旋律、強弱）の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受させる。 ・解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。 <p style="text-align: center;">音色 速度 旋律 強弱 調 三連符 pp</p>	知	<p>①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受している。</p> <p>②歌唱表現の特徴、要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。 ・音楽を形づくっている要素のかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 (鑑賞5、6年)
				思	歌唱表現の特徴、要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
				學		
12	音の構成を考えて創作表現を工夫しよう <時間> 「創作」	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいイメージと関わらせながら、音の特徴及び構成上の特徴について理解するとともに、それを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、旋律、リズム）の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質から創作できるようする。 	知	創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技術を身に付け、創作している。	・音楽を形づくっている要素のかわり合いを感じ取り、創作すること。 (表現5、6年)
				思		
				學	音楽活動を楽しみながら、主体的に協働的に創作活動に取り組もうとしている。	
1	日本やアジアの諸民族の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 <4時間> 「雅楽」含	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴くことができるようする。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心を持って聴くができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴くことができるようする。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心をもち、言葉で説明させる。 <p style="text-align: center;">リズム 構成 拍 音階 音色</p>	知	<p>①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受している。</p> <p>②要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 (鑑賞5、6年)
				思	音楽の特徴とその背景となる文化・歴史に関心をもって鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
				學		
2	箏の特徴を感じ取って聴こう <2時間> 「六段の調」	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受できるようする。 ・我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聞くができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、速度、旋律）の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受させる。 ・解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。 <p style="text-align: center;">音色 旋律 テクスチュア 形式 速度 間 厚破急</p>	知	箏の音色や奏法、旋律から生み出される曲想を感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・和楽器の音楽を含めた我が国の音楽を感じ取って聴くこと。 (鑑賞5、6年)
				思	箏の音色や奏法、日本の音楽の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
				學		
3	箏の基礎的な奏法を身に付けよう <3時間> 「さくらさくら」	<p>箏の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や奏法の特徴を理解させる。 ・箏の基礎的な奏法を身に付けさせる。 <p style="text-align: center;">音色 速度 旋律 間</p>	知	箏を演奏するためには必要な基礎的な奏法を身に付けて演奏している。	・楽器の特徴を生かして旋律楽器を演奏すること。 (器楽5、6年)
				思	箏の様々な奏法による雰囲気の違いを感じ取り、表現を工夫している。	
				學	箏の基礎的な奏法に関心をもち、表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	
3	感謝の気持ちを合唱で届けよう 【卒業式に向けての合唱曲】 <8時間> 「未定」 など	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うができるようする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うができるようする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 <p style="text-align: center;">音色 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成</p>	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	・歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 ・呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。 ・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聞いて、声を合わせて歌うこと。 (歌唱5、6年)
				思	<p>①歌詞の内容や曲想</p> <p>②発声や言葉の特性</p> <p>③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現の工夫をしている。</p>	
				學	<p>①歌詞の内容や曲想</p> <p>②発声や言葉の特性</p> <p>③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。</p>	

令和7年度音楽科《第2学年》年間指導計

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働きさせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

知は、知識及び技能 意は、音楽の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

月	題材名(配当時間)	指導目標	指導内容 共通事項	評価規準	1学年との関連
4	日本の歌の美しさを感じ取って歌おう <2時間> 「荒城の月」	歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫することができます。	・歌詞や旋律との関わりを感じ取らせ、曲の持つ情緒を味わせながら表現を工夫させる。 旋律 音色 テクスチュア 形式 Andante 調	知 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 意 歌詞の構成と曲の形式との関わりを理解し、それが生み出す特質や雰囲気を感受しながら歌詞の内容を味わって曲にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 学 歌詞の内容や、構成と曲想との関わりに関心をもち、意欲的に歌唱表現したり鑑賞したりしている。	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。(表現 歌唱)
	曲の仕組みを理解し、オーケストラの名曲を鑑賞しよう <2時間> 「交響曲第5番ハ短調」	曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽の良さや美しさを味わえるようにする。	・曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解させる。 ・感じ取ったことを客観的な理由を挙げながら批評し、美しさを味わわせる。 リズム 形式 旋律 音色 テクスチュア 動機	意 オーケストラの響き、曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして味わって聴いている。 学 オーケストラの響き、曲を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。(鑑賞)
	曲想を生かして表情豊かに歌おう。 <2時間> 「サンタルチア」	旋律の特徴を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌えるようにする。	・テクスチュアや形式に着目し、構造をとらえる。 ・声部の役割や強弱、言葉の発音からどうしたら全体の響きがよりよくなるか、表現を工夫させる。 強弱 旋律 テクスチュア 拍 音色	知 旋律の特徴を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 意 声の音色、響きを知覚・感受しながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 学 曲の特徴を理解し、音楽表現を工夫しながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	表現を工夫しながら歌うこと。(表現 歌唱)
7	<1時間> 音楽鑑賞教室 <2時間> 交響曲 鑑賞教室での曲について	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表すことができるようにする。 ・オーケストラ鑑賞のマナーを知り、社会人としての教養を高める。	・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取らせる。 ・オーケストラ鑑賞のマナーを知り、社会人としての教養を高める。 リズム 音色 形式 旋律 構造 テクスチュア 速度	意 音楽を形づくっている要素を知覚しながら、諸外国の様々な音楽の多様性を理解して鑑賞している。 学 じ取る。バロック時代の音楽についてその特徴と背景となる文化・歴史などに関心をもち、鑑賞する。音楽の特徴と曲想に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。(鑑賞)

8	【合唱コンクールに向けての取り組み】	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようとする。	・音楽の特徴や多様性について味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。
9	速度や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌おう <12時間> 「時の旅人」	・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うができるようとする。 ・声部の役割や全体の響き、曲の速度や強弱の働きなどを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようとする。	旋律 リズム 音色 構成 ・曲の速度や強弱の働きを感じ取らせながら、曲にふさわしい表現を工夫させる。	思	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化を知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。
10	学級の雰囲気に合わせた曲選び		音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 フレーズ 和音 rit. a tempo accel. dim. テヌート フェルマーテ	学	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。
11	フーガに親しう <2時間> 「フーガト短調」	・音楽の特徴や魅力について味わい、その良さの根拠を言葉で説明することができるようとする。 ・曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評できるようとする。	・パイプオルガンの音色に親しむ。 ・旋律が多声的に重なるおもしろさを聴きとる。 ・音楽の特徴や魅力について味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。	思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
			旋律 テクスチュア 音色 フレーズ	学	パイプオルガンの重厚な響きを感じ取る。
12	舞台芸術と音楽との関わりを味わいながら聴こう <5時間> オペラ 「アイーダ」 歌舞伎 「勧進帳」	総合芸術の比較鑑賞から音楽の多様性を理解することができるようとする。	・オペラや歌舞伎について理解させる。	思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				学	舞台芸術について、音楽の特徴と人々と音楽文化の関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
1	リズムの反復、変化、重なり方のおもしろさを味わおう。 <2時間> 「リズムアンサンブル」	リズムの重なりを聴き合い、強弱の変化を味わいながらアンサンブルをすることができます。	・リズムの反復、変化、重なり方を感じ取せる。 ・アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、表現を工夫させる。	知	他のパートとの関わり方をじゅうぶんに理解し、自らの意図を反映しながらアンサンブルをしたり、つったりするための技能を身に付けて表現している。
			リズム テクスチュア（音の重なりなど） 強弱 形式 構成	思	アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、自らの意図をもち表現を工夫している。
				学	リズムの反復、変化、重なり方に興味をもち、体を使ったアンサンブル表現を工夫する学習に意欲的に取り組もうとしている。
2	感謝の気持ちを合唱で届けよう 【卒業式に向けての合唱曲】 <5時間> 式歌	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うができるようとする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うができるようとする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うができるようとする。	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。
3			音色 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 pp ff 16分休符	思	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。
				学	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。
					・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 (表現 歌唱)

令和7年度音楽科《第3学年》年間指導計画

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

知は、知識及び技能 感は、音楽の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

	題材名(配当時間)	指導目標	指導内容	共通事項	評価規準	1学年との関連
4 5	日本の歌の美しさを味わおう <2時間> 「花」	歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫させる。 詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> リズム 旋律 強弱 音色 a tempo フェルマータ rit. PP </div>	知 感 学	<p>詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現できたか。</p> <p>歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫している。</p> <p>曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 (表現 歌唱)
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう <3時間> 「ボレロ」「組曲『展覧会の絵』から」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関りについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴を理解させ、楽器の音色を楽しみながら、オーケストラの響きを聴かせる。 作曲された背景を学び、絵画をどのように音楽で表現されているか考えさせる。 	感 学	<p>曲の特徴を理解し、曲想と構造の関りを感じ取ることができたか。</p> <p>音楽の特徴や構造との関わりに关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各楽器の音に注目して聴くこと。 音楽で表現するということについて意識していること。(鑑賞)
	曲想を生かして表情豊かに歌おう。 <3時間> 「帰れソレントへ」	調や速度の変化による曲想の違いを感じ取りながら、楽曲の構成を理解し、カンツォーネの表現ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜に表示されている速度用語の意味を理解させる。 原語による範唱を聴かせ、調や速度の変化を生かしながら表情豊かに歌われていることに気付かせる。 	知 感 学	<p>歌詞の内容や曲想を生かし、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。
7	【合唱コンクールに向けての取り組み】 混声合唱を表現豊かに歌おう <11時間>	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようになる。 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようになる。 声部の役割や全体の響き、曲の速度や強弱の動きなどを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲のしくみを理解して表現を深めさせる。 強弱や速度の変化を生かして合唱させる。 言葉を大切に、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 ループ 和音 rit. a tempo legato pp ff accel. dim. テヌート フェルマータ 16分休符 </div>	知 感	<p>混声四部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。</p> <p>① 歌詞の内容や曲想。 ② 発声や言葉の特性。 ③ 声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化を知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。
	「大地讃頌」 学級の雰囲気に合った曲			学	<p>① 歌詞の内容や曲想。 ② 発声や言葉の特性。 ③ 声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 (表現 歌唱)

10	曲の背景や歴史を知って、音楽の変化を味わおう。 ＜3時間＞ 音楽史	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解しながら味わい、各時代の中で音楽がどのように変化、発展していくのか意識しながら鑑賞することができる。	・中世から近現代の各時代の音楽の特徴を理解させる。 ・各時代の作曲家や作曲された曲について理解を深めさせる。 ・各時代の音楽を鑑賞し、流れの変化や共通点などを知覚し、言葉で説明させる。	思 想	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	学	各時代の音楽の特徴がその背景となる文化・歴史や他の芸術との関わっていることに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			
	思 想	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。			
11	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。. ＜2時間＞ ブルタバ（モルダウ）	曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽の良さや美しさを味わうことができるようになる。また、当時の時代背景から作品に込められた思いを感じ取る。	・曲がどのようにつくられたのか、歴史的・社会的背景について理解させる。 ・場面や情景がどのような音楽で表現されているのか聴いて感じさせる。 旋律 リズム 音色 構成 速度	思 想	音楽の特徴を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。
	思 想	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。（鑑賞）			
	学	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			
12	リズムの反復、変化、重なり方のおもしろさを味わおう。 ＜2時間＞ 「リズムアンサンブル」	リズムの重なりを聴き合い、強弱の変化を味わいながらアンサンブルをすることができるようになる。	・リズムの反復、変化、重なり方を感じ取らせる。 ・アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、表現を工夫させる。 リズム テクスチュア(音の重なりなど) 強弱 形式 構成	知 行	他のパートとの関わり方をじゅうぶんに理解し、自らの意図を反映しながらアンサンブルをしたり、つくったりするための技能を身に付けて表現している。
	思 想	アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、自らの意図をもち表現を工夫している。			
	学	リズムの反復、変化、重なり方に興味をもち、体を使ったアンサンブル表現を工夫する学習に意欲的に取り組もうとしている。			
1	ギターの種類を知り、奏法を理解して、器楽表現を工夫しよう ＜4時間＞ 「ギター」	ギターの種類について知り、音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏できるようにする。	・ギターの種類や、基本的な奏法を理解させる。 ・単音、コード、それぞれの役割を考えさせ、どのような効果があるか理解したうえで、演奏できるようにさせる。 リズム テクスチュア(音の重なりなど) 旋律 リズム 音色 速度	知 行	創意工夫した表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けられている。
	思 想	音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えることができる。			
	学	ギターの演奏を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。			
2	感謝の気持ちを合唱で届けよう 【卒業式に向けての合唱曲】 ＜5時間＞ 式歌	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようになる。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようになる。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようになる。	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。	知 思 学	混声四部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。 ①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。
	思 想	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。			
	学	・歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。（表現 歌唱）			